

韓国におけるバイオディーゼル菜の花試験事業について

○ バイオディーゼルの政府施策

- － 化石燃料代替のために新エネルギー（※）のバイオ分野の普及を推進。
（※ 太陽光、風力、水力、バイオ、燃料電池など）
- － 政府の普及事業
2002～2006年 普及試験事業として総3万トン供給
2006～2008年 バイオディーゼルの商品化 年間9万トン供給

○ 政府政策の課題

バイオディーゼルの原材料については、国内で自給することが第一と考えているが、現在は「輸入大豆油 77%、廃食用油 23%」と国内自給化は進んでいない。

<原料の自給化のための方策>

- － 国内「廃食用油」リサイクル
- － 原料作物の生産

○ 農業との連携及び限界

ウルグアイラウンド（1986年）以後、農業部門について政府は投資を行ってきたが、国内外ともに難しい状況にある。そこで、政府はバイオディーゼル原料となる菜の花の栽培を拡大し、バイオディーゼルの普及と農業需要拡大を関連づけていく施策を打ち出した。

現時点では、農業とバイオエネルギー政策との連携は不十分であり、国産菜の花の栽培の拡大推進が実現できていない状況にある。

【参考】

- ・ 農林業の国内総生産（GDP）に占める割合
'95/5.0%, '00/3.7%, 06'/3.0%
- ・ 農産物年間消費量の推移

	'80	'90	'02	'05
米	132kg	119kg	87kg	80kg

- ・ バイオディーゼル普及と菜の花栽培の目標値

	'07	'08	'09	'10
バイオディーゼル普及量（トン／年間）	9万	18万	27万	36万
バイオディーゼルの目標値を全量国産業種で賄う場合必要となるナタネの供給量（トン／年間）	22万	45万	68万	90万
上記のナタネ供給量を賄うために必要な菜の花栽培面積（ha）	5.6万	11万	17万	22万

○ 菜の花啓発事業

- ・ 事業期間 2007～2009 年の 3 カ年
- ・ 事業規模 1,500ha (500ha×3箇所)
- ・ 事業費 26 億ウォン/年 (国費 70%、地方費 30%)

※ 日本円で約 3 億 2,000 万円

<試験事業進捗状況>

- ・ 試験事業対象地域選定 2007 年 4 月
- ・ 選定農業の教育、広報活動 2007 年 4 月～
- ・ 種子供給、「農業者・農協・バイオディーゼル業者」の三者における生産供給契約協議 2007 年 8 月

○ 今後の推進計画

- ・ バイオディーゼルの中長期普及計画の策定
- ・ バイオディーゼル普及量目標設定

年度	'07	'08	'09	'10	'12	'17
混合割合 (%)	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0
バイオディーゼル量 (トン)	9 万	18 万	27 万	36 万	54 万	90 万

※ 2010 年まで拡大した後、目標値を見直す予定

- ・ バイオディーゼル免税による支援 (2010 年まで)
- ・ バイオディーゼル原料国産化のための施策の検討